

わだいの



▲思い出の品々を手に取り、懐かしそうに見入る参加者



▲保存されていたタイムカプセル

旧宮野河内中学校・タイムカプセル開封 河浦

10年のときを超え、あの日の記憶がよみがえる

平成14年3月に閉校した旧宮野河内中学校の当時の在校生や教員ら30人が1月2日、同校跡地を訪れ思い出の品々を保存したタイムカプセルを開封しました。これは、同校の閉校10周年記念事業として、タイムカプセルを埋めた当初から計画されていたもの。この日参加者は、保存した4つの箱を開封し、当時の作文や写真などの品々が出てくると歓声を上げたり、手に取って懐かしそうに見入ったりしていました。

また、閉校の年に醸造されたワインも10年のときを経て登場。その後にかかれた懇親会では、このワインで祝杯が上げられました。

福祉施設と地区住民の共同避難訓練 御所浦

みんなで助け合い、みんなで避難を

1月15日、特別養護老人ホーム「御所浦苑」一帯で、同施設と地区住民との共同避難訓練が実施され、住民をはじめ地元の消防団員や民生委員など70人が参加しました。これは市が、福祉施設と地区住民との災害時における連携強化や支援体制の構築などを目的に、初めて行ったもの。この日は、地区内で災害が発生したとの想定で、地区の要援護者や住民の同施設への避難のほか、施設入所者の避難や炊き出しなどの訓練を実施。参加者は、真剣な表情で取り組んでいました。



▲訓練のようす



▲弁当を笑顔で受け取る利用者

独居老人世帯年末配食サービス 栖本

年の瀬に愛情を込めた弁当を届ける

12月31日、「独居老人世帯年末配食サービス」が行われました。これは、市社会福祉協議会・栖本支所が、町内に住む70歳以上の1人暮らし世帯のうち、年末年始に家族などの帰省がない人を対象に、安否確認を兼ねて毎年行っているもの。この日は、地元の民生委員や同支所の職員が、配食を希望した72世帯を訪問。地元の商店に依頼して作られた、特製のおせち風弁当を手渡すと、利用者は「楽しみに待っていました」と笑顔で受け取っていました。

方原敬老会 本渡

“ほうばるの唄”を口ずさんで楽しいひととき

1月9日、「第82回方原敬老会」が楠浦町の方原地区自治公民館で開かれ、地区内に住む70歳以上の敬老会会員など約100人が参加しました。これは、高齢者を敬おうと昭和6年から続いている同地区の伝統行事。同会では、まず式典が開かれた後、シンガーソングライターのせきどうえいさん（熊本市）によるコンサートのほか、肥後ちゃんかけごまの伝承者・川口英徳さん（同）がこま回しを披露。参加者は、いっしょになってこま回しをするなど、楽しいひとときを過ごしていました。その後、昼食がふるまわれ、せきさん作曲、同地区に住む若山敬介さん作詞による“ほうばるの唄”を全員で合唱。方原を思い浮かべる歌声に、会場は和やかな雰囲気になっていました。



▲せきさんの伴奏で「ほうばるの唄」を全員で合唱



◀こま回しを楽しむ参加者

新春通詞島ウォーク 五和

弁天さまに願いを込めて

1月8日、二江公民館主催の「新春通詞島ウォーク」が開かれ、通詞島を1周する約4kmのコースに、地区住民181人が参加しました。コース途中には、魚のエイに乗って同島に渡来したといわれている弁天様がまつられた三天堂があり、参加者は参拝や運試しの輪投げに挑戦。

また、家内安全・無病息災などの“繁栄（エイ）”、永遠に良い縁が続くように“エイ縁”、必勝・合格を祈る“エイエイオー”の、『エイ』にちなんだごろ合わせ絵馬が用意され、参加者は願い事を書き込み、同宮に奉納していました。



▲願い事を書いた絵馬を奉納する参加者



▲元気いっぱい笑顔でスタートする生徒たち

天草東高校・老岳登山マラソン大会 有明

みんなでラストラン!

今年3月に閉校する天草東高校（山下照喜校長・全生徒9人）の「老岳登山マラソン大会」が12月18日、市有明支所を発着とする18・15・5kmのコースで行われました。これは、高峰“老岳”（591m）の山頂を目ざす同校の恒例行事。最後の大会となる今回は、生徒のほか卒業生や地元住民など約100人が参加しました。大会では、高低差が激しい難コースを、生徒たちは懸命に力走。また、ゴール後は同窓会などによるおにぎりや豚汁がふるまわれ、参加者は交流を深めていました。